

# 地域との共存をめざして

私たちの事業活動の原点は、社会の皆様からの信頼です。地域の人々とともに環境を大切に、安全・安心に寄与する地域貢献型の企業をめざします。

## ○災害時に対応できる設備を兼ねそなえた武蔵野営業所

東日本大震災は、災害に対する考え方を一変させました。当社は、全国各地に展開する営業所を、災害時には復旧活動の拠点とし、地域の方々の支援施設として運用するため、設備のリニューアルを推進しています。

その一例である武蔵野営業所は、建築基準法の1.5倍の耐震性を有しており、緊急時には近隣住民の避難受け入れを想定した作業員宿舎を併設しています。敷地内には環境に配慮した太陽光発電施設や電気自動車充電設備、さらに通常で使用する1ヵ月分のLPガスを貯蔵できるガス貯蔵槽が設置されており、災害時に必要な食料や水も備蓄しています。

今後、年間10ヵ所程度の整備を推進し、10年後をめどに全国の営業所、作業員宿舎のリニューアルを進め、地域貢献をかたちにしてまいります。



作業員宿舎



武蔵野営業所全景 (埼玉県新座市)



EV充電設備



備蓄した食料や水

## ○アスファルト合材工場のイメージを刷新 ～工場から店舗へ～

全国に設置されたアスファルト合材工場は、約100ヵ所あります。各工場には道路建設に必要な材料、重機、ダンプトラック、人員の全てが揃い、災害時にもいち早く対応できるのが特徴です。東日本大震災の際にも、アスファルト合材を提供し、被災地の道路で早期開通に貢献することができました。

また、これまでの合材工場というイメージを刷新し、工場の“店舗化”を全国各地に展開しています。

例えば受付内には、飲み物などを提供するコーナーを設置。工場に来ていただいたお客様のために、「くつろぎの空間づくり」を心掛けています。

一方、従来は倉庫に置いて販売していた袋入りの常温



アスファルト舗装に関連した商品をラインナップ

合材や、舗装用資材、軍手などの備品も新たに受付内に取り揃え、お客様が購入し易い環境を提供しています。

合材工場は、災害時の復旧の拠点という側面だけではなく、高品質な製品をより早く、より安全に提供することで、これからも地域の方々に貢献していきます。



朝霞総合合材工場 (埼玉県) の受付

### VOICE

#### 省エネ、復旧拠点で地域に貢献

北関東支店 武蔵野営業所/淵田 貴広



CSRの観点から地球温暖化対策は不可欠な課題となっています。武蔵野営業所は、太陽光発電を利用して同営業所で使用する電力を補うだけでなく、EV車とPHV車の充電に利用しています。また、全館LED照明とし、

窓には断熱性の高い複層ガラスを採用、省エネ効率の高い空調設備の導入と併せて環境に配慮した施設になっています。

このような設備の充実、職員の作業環境や福利厚生の上にもつながっています。

当社は地域密着で仕事をするのが基本。万が一災害が発生した際に役立つ設備が整っています。言葉だけではなく、地域貢献をかたちにしていきます。

### Topics

#### 『マイルドベース (中央混合方式高耐久路盤材)』の専用工場を新設

2012年10月、総武合材工場 (千葉県船橋市) 内に「マイルドベース」専用工場を新設しました。

マイルドベースは、セメントコンクリート発生材、アスファルトコンクリート発生材などの再生骨材にセメント、アスファルト乳剤を加えて製造した路盤材です。セメントによる「剛性」とアスファルト乳剤による「たわみ性」を有しており、耐久性にも優れた付加価値の高い路盤材です。

地盤の液状化低減にも効果が期待できることから、東日本大震災後、気仙沼地区においては、緊急車両用の道



マイルドベースを施工した現場

路工事で使用した実績があり、災害復旧にも貢献しました。製造については、中央混合方式 (=工場での混合・出荷) を採用することにより、高品質な材料の安定供給が可能となりました。また同様の材料で施工する従来の路上再生工法に比べ、周辺環境への騒音や粉塵の影響を軽減することができます。

これらの特徴により、今まで施工が難しかった都市部や夜間の出荷にも対応できるようになりました。



マイルドベース専用工場 (総武合材工場内)